

産建教育常任委員会 議事録

日時：令和7年4月23日（水）

午前10時10分～午後0時30分

場所：第1・2委員会室

出席者

委員名 ☒委員長 大和 晴美 ☒副委員長 丸子 直樹 ☒委員 竹内 和彦
☒委員 高橋 真理子 ☒委員 伊藤 貞悦

会議次第

※会議に先立ち、執行部から報告事項2件を受けた。（出席：副町長、企画財政課長、地域福祉課長）5月実施全員協議会にて詳細説明予定。

1 開会宣告 【委員長】

2 連絡

4月30日（水）午前10時00分 議会運営委員会
5月20日（火）午前10時00分 全員協議会（議会）
23日（金）午前10時00分 全員協議会（執行部）
30日（金）午前10時00分 全員協議会（議案配付）
6月 2日（月）正午 一般質問締め切り
午後 2時00分 議会運営委員会

※ 次回からSideBooksの04_常任委員会 産建教育常任委員会フォルダに開催通知及び次第を格納します。毎日の確認をお願いいたします。

3 事件

(1) 再編小学校について【教育総務課】

〔説明員：伊藤課長、佐藤施設整備班長〕

○資料に基づき説明を受けた。

委員長：ただいまの説明について質疑はあるか。

副委員長：PFI方式で行えればよいと思うが、可能性調査の結果候補者がいなかった場合でも従来方式で施工可能なのか。

課長：いなかった場合従来方式に切り替え、スケジュールに少し遅れが出る可能性がある。スケジュールが見えたあと、債務負担設定等が事務として発生する。

副委員長：PFI方式で実施することで決定か。

課長：担当としては総合的に勘案しPFIが良いと考えているが、庁舎内委員会に諮っていないので決定ではない。維持管理費や建設に係る職員数などを考えた結果PFIが望

ましい。

副委員長：既存用地を活用した場合の予算で、造成や調査等の費用が発生しないという考え方は。

課 長：大規模な測量等は発生しないという想定。調整池や小規模な傾き等の測量が発生する可能性あり。

班長：山元中建設当時は開発申請が必要なかったが、法改正後申請が必要な可能性があり、後日県担当者等と協議・確認を行う。

副委員長：住民説明会で児童館の話が出たと思うが、建設後どうなるのか。

課 長：現在まさに検討中であるが、敷地内に児童クラブは難しい状況。隣接地や候補地は検討事項だが、現在利用140名とほぼ山二小の人数と同様であり、その規模の施設の新設は難しい状況

副委員長：学校用地と町の用地考え方が異なるのか。

課 長：町の用地で割り振りするという考えである。

竹内委員：坂元地区での説明会ではどのような意見が出たか。

課 長：大きく言うと用地購入の上新設の要望が出た。

竹内委員：話を聞いたうえで町としてどのようにとらえたか。

課 長：財政・期間を検討したうえで、町として庁舎内検討委員会を踏まえたうえで決定・議会にもご理解いただいたうえで説明会を行ったので、方針を変えるのは難しい。水道管が通っていない部分に建設等費用は耐えられないだろうという判断。

竹内委員：意見した方には返したのか

課 長：具体的な費用等は伝えていないが、部分的にお伝えした。住民感情という話も出てきたが、現実的に耐えられるかという判断が必要となっており、区長会等でも理解を求めて行く。

伊藤委員：学校隣接地に住む方は立ち退きが想定されるが、費用等の設定はしているか。

課 長：予算設定はしていない。消防署も再建等が見えてきた段階であるが、完全に見えている状況ではないことから、含めた想定はしていない。隣接地まで購入すると学校として広すぎる用地になる可能性もあり、現在検討はしていない。

伊藤委員：施設一体型か隣接型が重要と考えられる。職員室数やグラウンドが見える状況等の条件を考えた場合、難しいのではないか。職員の駐車場などを想定すると数件の用地を購入、広げた方がよいのではないか。

課 長：現在誰かが住んでいる状態でその部分を想定した用地は設計できない。既存の用地を活用した想定を進める。

伊藤委員：小学校も含めるとそれなりの規模にはなるが、職員駐車場等は設計の中にはないのか。

課 長：駐車場等を含めて3万平米と設計している。校地内の建設候補地が決定した後基本構想を立てる流れになる。

伊藤委員：建設中には仮設校舎に通学させることになるのか。プール等も検討が必要になるが。

課 長：議論中であるが、配置次第では仮設庁舎に入る時間は最小限になる可能性もある。プール等も現在検討中である。プールは小中兼用はできないため今後検討

伊藤委員：最重要は場所になるだろうと思う。新設や中心地に建てろなど住民の声が聞こえ

たりもしているが、12年度完成を見込むと、頭を下げつつ進める必要があるのではないか。町民の理解を少しずつ求めて行くしかない。理想と現実を見せつつ実施してほしい。周辺自治体の事例もよく研究してほしい。

課 長：候補地を変えることが難しい理由は先ほど竹内委員に説明した通り。財源の確認等は復興交付金や外国からの寄付等のタイミングで建設しており、今と状況が違う部分もある。他の町民サービスに影響が出ないようにする必要がある

高橋委員：身の丈に合ったという話が議員からもよく出ているが、その通りであると思う。子どもたちのことを考えても12年度開校を考え、このとおりで進める必要があると思われる。用地検討で航空写真等を使用したのか。

課 長：航空写真等を活用し、用地可能性を検討した。

高橋委員：その際立ち退きの想定はされたのか。

課 長：初期構想ではそういった想定もしていたが、難航すると考えられる部分もあり現在は既存の用地でできることを検討中である。

高橋委員：設備でプールの話が出たが、国は授業からなくす検討もしているようだ。個人的にもあるほどなと思うこともあり、ないことも一つではないか。PFIの事例は県内であるのか

課 長：県内での最近の事例は小牛田の事例がある。全国的にも多数学校建設では事例あり。

高橋委員：手を挙げる業者があればそれは良いと思われる。デメリットは考えられるか。

課 長：デザイン性に富んだ校舎等になると教育環境が損なわれる可能性も考えられるのでその部分は仕様書で制限する形となる。進行管理に建設は法務の専門知識が必要となり難度が高い。

委 員 長：直近の区長会では本日の資料を使うのか

課 長：その予定である。

竹内委員：今後進めるにあたってスクールバスも注意してほしい（窮屈にならないように）

副委員長：住民説明会は今後また実施するのか。

課 長：当初想定では予定していたが、今後するときでは「こうなります」という形の説明が想定される。

副委員長：決まった時点での要所での説明が行われるのか

課 長：要所では必要と考えている。議会等にも一定の説明を行っており、進めて行きたい。

委 員 長：以上で質疑を終了する。

（11時45分 教育総務課 退室）

（2）優良市町村視察研修について

① 実施予定 6/17～6/19

※参考：総務民生常任委員会 時期未定、公共交通他、北海道方面

② 協議結果

1日目 新潟県内「田んぼダムの取り組み状況について」

2日目 北関東（群馬県、埼玉県等）

「農業の観光化（観光農園）について」または
「農業の担い手確保事業（地域おこし協力隊活用事例）について」
6月17日～19日の2泊3日で実施決定（具体の自治体等は事務局で調整）

4 その他

次回開催（予定） 月 日（ ）午前10時00分～

事件：町漁業の取り組みについて（日程5月中旬で事務局調整）

5 閉会宣告 【委員長】